

市従労 NEWS

組合設立:1946年 組合本部所在地:〒921-8026 石川県金沢市糸田新町1-30



中村所長 冒頭挨拶



内田補佐 現況報告

12.8 現業職場から 労災一掃集会



進行役 坂下副委員長



東部管理 集会風景

重要 Point 公務災害等の現況報告・ヒューマンエラーについて 死亡災害・労働災害撲滅

各自治体では安全衛生の“無法地帯”と叫ばれる現業職場における

死亡災害・労働災害を一掃するための集会

清掃職場のみならず、現業職場における労働災害の撲滅を目指す目的で『現業職場から労働災害を一掃するための職場集会』が、12月に入って各職場でそれぞれ取り組みの再構築に向けて行われています。

東部管理センターでも、8日(水曜)に11時30分から事務所と合同で、これまでの現業職場における「死亡災害」および「労働災害」に見舞われた方々に対し、決して「対岸の火事」として終わらせることなく、我々自身の今後の課題であり、改善する部分の見直しと捉え、対策を講じていく機会として職場全体で考える重要な問題解決の糸口であることは言うまでもありません。

【職員区分別・公務災害発生件数表 ～総務省～ 令和元年度】

職 員 区 分	対 象 職 員 数	公 務 災 害 件 数
清 掃 事 業 職 員	42,977 人	848 人
警 察 職 員	289,849 人	5,681 人
消 防 職 員	162,076 人	1,304 人
義 務 教 育 学 校 職 員	680,149 人	5,230 人
義務教育学校職員以外の教育職員	334,813 人	3,221 人

全国の現業職場を中心に、有害・危険箇所等が放置されている例も多く存在し、いつ重大災害が発生してもおかしくない状況でありながらも、安全対策等を講じることもなく見過ごされている『安全衛生の無法地帯化』が多くの自治体で確認されているのが現実であります。

我々の職場全体でも、今一度、「安全作業マニュアル」等での作業手順の確認を含め、職場における危険箇所等の再点検(再確認)強化を図りながら、ハインリッヒの法則:『1つの重大事故の背後には29の軽微な事故があり、その背後には300の異常が存在する』を再度、肝に銘じながら不安全行動・不安全状態の一掃に努めなければならないと、改めて感じました。内田所長補佐からも、今年度の月1回開催の労働安全小委員会における「ヒヤリハット」の報告を職員に呼び掛ける取り組みに関し、今現在まで報告が無いことにも触れ、これからは引き続き収集業務における『安全への徹底』を周知した上で、更なる気を引き締めた行動・作業に従事するよう促した。

今回、ヒューマンエラー(人為的過誤・失敗)についても触れ、ごみ収集現場での実際の経験(体験)事例を頭に浮かべながら、様々な災害・事故等について検証する上で『12の分類』が存在し、①無知・未経験・不慣れ②危険軽視・慣れ③不注意④連絡不足⑤集団欠陥⑥近道・省略行動本能⑦場面行動本能⑧パニック⑨錯覚⑩中高年の機能低下⑪疲労⑫単調作業等による意識低下…があり、現場作業に携わる人達の「安全意識の向上」をどう考えるのか?直接的・潜在的な原因を探りながら、効果的な対策が求められていることを強く感じました。

【職種別・公務災害認定状況表 ～総務省～ 令和元年度】

職 種	対 象 職 員 数	公 務 災 害 認 定 件 数
清 掃 職 員	31,215 人	815 人
警 察 官	261,863 人	5,571 人(死亡:4人)
消 防 吏 員	161,184 人	1,311 人(死亡:5人)
教 育 公 務 員	841,946 人	7,572 人(死亡:11人)
医 師(歯科医師含む)	25,031 人	1,040 人
看 護 師	128,742 人	2,911 人(死亡:1人)
保 育 士(寄宿舍指導員)	96,640 人	765 人
調 理 員	21,030 人	533 人

これまでの「財政危機」を名目とした「現業職場の削減(切り捨て)」改革を強行して行った結果、各職場における「超勤問題」「呼吸器疾患」「腰痛」「眼疾患」「精神疾患」を含む、心身のストレス等に起因するメンタル不調などの社会問題が非常に大きくなったのも事実であり、その中でも事務職(一般職)への任用替え等に伴う、仕事内容(やり方)の違いで、思い悩む職員も増え、ゆとりの無い職場環境における「コミュニケーション不足」も多く報告されています。

これからも、公務災害・労働災害を一掃し『快適な職場環境』を目指し、**安全無くして労働無し!!**を基本に共に頑張りましょう。集会に御参加された皆さま、お疲れ様でした。